

子吉川レガッタ 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルスの感染の現状を踏まえ関係諸機関のガイドライン等の情報を用いて作成していますが、使用者の責任において活用するガイドラインです。大会主催者として、最大限安全に配慮して運営を行います。大会に関わるすべての方の新型コロナウイルスへの感染に対して、いかなる場合においても責任を負いかねますので、予めご了承ください。

1 基本方針

- (1) 大会参加者（選手・監督）及び大会運営スタッフの健康の安全を最優先とし、大会開催に係る感染リスクに対し必要な対策を講じるものとする。
- (2) 大会開催にあたっては、三密（密閉・密集・密接）を避けるとともに、大会に関わる全ての者が「新しい生活様式」に基づく感染症対策を実践する。

2 大会の新型コロナウイルス感染症に係る開催可否判断時期及び判断基準

大会開催は、以下の（１）～（４）の要件を総合的に評価し、開催２週間前を目処に主催者がその可否を判断する。ただし、開催決定後であっても、秋田県内及び由利本荘市内並びに近隣の自治体において感染拡大が認められた場合には大会中止とする場合もある。

- (1) 全国的に緊急事態宣言が発出された状態にないこと。
- (2) 本市において、イベントの開催及び施設利用が認められていること。
- (3) 緊急事態宣言等による参加辞退があった場合であっても、一定以上の参加が見込まれていること。
- (4) その他、実行委員長が感染リスクが急速に増大している状況でないと認めるとき。

3 大会規模の変更について

主催者は感染対策のため、参加クルー数・競技種数・レース距離・競技日程の短縮等、大会規模の縮小をおこなう場合がある。

4 大会参加者及び大会主催者（運営スタッフ）の遵守事項

大会関係者は以下を遵守すること。

- (1) 選手、役員ともに、当日を含め７日間に以下に示す症状が一つでも該当する場合は、参加は認められない。

- ☐ 平熱を超える発熱がある場合（37.5℃以上）
- ☐ 咳、喉に痛みなど風邪症状がある場合
- ☐ だるさ、息苦しさを感ずる場合
- ☐ 味覚、嗅覚の異常を感ずる場合
- ☐ 過去5日以内に、新型コロナウイルス感染症と診断された者との濃厚接触が明らかなる場合

- (2) 会場への入場制限はしないが、市内などの感染状況によっては入場制限をおこなう場合はある。
- (3) 大会関係者は9月5日から「【事前用】健康観察シート」（自宅で保管）に記入をした上で「【大会当日用】健康チェックシート」に必要事項を記入し、大会本部へ参加団体の代表者がまとめて提出すること。
- (4) レース以外では、栈橋での活動を含め、原則としてマスクを着用すること。ただし、熱中症予防のため、屋外で2 m以上の間隔を確保できる場合は、適宜マスクを外し、休憩を取り、水分補給を行うこと。
- (5) 多人数の集合を最小限に抑えるために、開会式及び閉会式（表彰式）は実施しないものとする。
- (6) 配艇、栈橋エリアは各クルーの選手と補助者2名まで立ち入りできることとし、各クルーのレース以外の立ち入りは禁止とする。
- (7) 艇やオールの消毒は、選手がレース後実行委員会の準備する噴霧器を使い消毒を行うこと。
- (8) 艇の乗り換えの際は、艇を押さえる2人以外が栈橋から降り離れてから、次のクルーは栈橋へあがること。
- (9) コックスは、レース中も可能な限りマスクを着用すること。ただし、熱中症や呼吸困難等の恐れがある場合には、水上に限りマスクを外しても良いものとする。
- (10) 会場においてバーベキューや調理等をおこなうことは、感染リスクが高い飲食となるため控えること。また、飲料のボトルやコップ等の備品の共有は禁止する。
- (11) 参加者のテントは隣との距離を最低1 m離し設置すること。また、アルコール消毒薬も各自で用意すること。
- (12) 会場のテント内において、社会的距離を確保すること。（参加者テント含む）
- (13) 水上出場選手及び陸上活動選手に向けての大声での声援は行わない。
- (14) 大会関係者は、大会終了後7日以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、速やかに子吉川レガッタ実行委員会事務局に、その旨連絡すること。

連絡先：ボートプラザアクアパル：Tel 0184-22-5611